

祝

砂防行政に22年間従事した 高橋 進氏 「赤木功績賞」を受賞！！

2月15日(木)に砂防会館(東京都千代田区平河町)において行われた赤木各賞の授与式で、中部地方整備局OBの高橋進氏が「赤木功績賞」を受賞しました。

おめでとう
ございました！



高橋氏は、昭和39年に建設省中部地方建設局に入省後、越美山系砂防工事事務所に通算22年間勤務されるなど砂防行政に長く従事し、砂防事業の発展に多大な功績を残されました。

その偉大な経歴は事務所の礎となるもので、職員一同大変感謝しています。



私こと、平成30年2月15日、東京都平河町の全国治水砂防協会において、赤木功績賞を授与致しました。この栄誉は、私にご指導くださいました諸先輩及び同僚、並びに後輩、地域の方々のおかげだと、厚く感謝申し上げます。

受賞に当たり越美山系砂防事務所での体験、思い出を少しばかり語らせて頂きます。

昭和40年奥越豪雨を受けて、昭和43年4月17日に当事務所が開設され(総勢17人)、揖斐川上流域(横山ダムより上流)と根尾川(旧根尾村一部を除く)を、直轄で整備することになり、入省5年目の私も、初めての砂防事業に携わることになり、天竜川上流河川事務所・多治見砂防国道事務所等、砂防事業に経験豊富な先輩に、当時日本でいちばん古い法律の砂防法6条(直轄で施設整備が出来る)、砂防と治山の違い(砂防はその地点より下流を、治山はそこより上流を守る)等、砂防のイロハを教えて頂いたのが、今もおおいに役立っています。当時は施設の測量、設計、積算も直接我々職員が行い、人手不足の為、運転手にポール等を持って頂くことが間々ありました。あれから半世紀過ぎた昨今、土砂災害がますます多くなった気がします。砂防は縁の下の力持ちで、光の当たらない職場ですが、現職の皆様、誇りと希望を持って職務に専念してください。

有難うございました。

高橋 進



赤木 正雄

治水事業に自分の身を投げ出そう、その上の砂防を研究しよう決心し、天竜川など全国の砂防工事を指導しました。数々の実績を積み、日本に「赤木砂防」を普及させました。溪流河川(上流)の改修を一般河川改修の分野から取り外して砂防工事の分野に入れ、土木局内から砂防課を創設するという治水機構の根本的改正を実現させました。

赤木正雄顕彰

遺訓を体して砂防事業を承継し、後輩を鞭撻して益々事業の発展を期し、先生の遺業を追慕し、その志を永久に伝えんがため、毎年一回、砂防技術および事業の発展に功績のあった者に赤木賞、赤木顕功賞、赤木功績賞、赤木功労賞を贈っている。

赤木功績賞：砂防事業の発展に多大な功績があった者に贈られる賞



クマタカ通信をメール配信します。配信希望の方は下記宛に「配信希望」とメールを送信して下さい。また、クマタカ通信の感想やご意見もお待ちしています。

◆クマタカ通信の既刊はこちら(事務所HP)

◆越美山系砂防事務所HPへはこちら

発行 国土交通省中部地方整備局

越美山系砂防事務所 揖斐川砂防出張所

〒501-0619 岐阜県揖斐郡揖斐川町三輪2303-3

Tel: 0585-22-3526 Fax: 0585-22-6626

E-mail: cbr-ibigawasabo@mlit.go.jp

※法人については文中敬称略

